

CL-4-Ⅲ-01	<b>疾患と薬物治療Ⅲ</b>	第4学年	前期 必修	1単位
<b>担当者</b>	亀井 淳三・鈴木 勉			
<b>一般目標 (GIO)</b>	将来、適切な薬物治療に貢献できるようになるために、精神疾患、耳鼻咽喉疾患、皮膚疾患、眼疾患、移植医療、緩和医療およびそれらの治療や医療に用いられる代表的な医薬品に関する基本的知識を修得する。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	<p><b>【精神疾患】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 代表的な精神疾患を挙げることができる。</li> <li>2. 統合失調症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>3. 気分障害（うつ病、躁うつ病）の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>4. 次の疾患を概説できる。不安障害（神経症、心身症）、薬物依存症、アルコール依存症。</li> </ol> <p><b>【耳鼻咽喉の疾患】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げることができる。</li> <li>2. めまいの病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>3. 次の疾患を概説できる。メニエール病、アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎。</li> </ol> <p><b>【皮膚疾患】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 皮膚に関する代表的な疾患を挙げることができる。</li> <li>2. アトピー性皮膚炎の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>3. 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>4. 次の疾患を概説できる。蕁麻疹、薬疹、水泡症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症。</li> </ol> <p><b>【眼疾患】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 眼に関する代表的な疾患を挙げることができる。</li> <li>2. 緑内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>3. 白内障の病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> <li>4. 次の疾患を概説できる。結膜炎、網膜症、加齢黄斑変性</li> </ol> <p><b>【移植医療】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 移植に関連した病態生理、適切な治療薬、およびその使用上の注意について説明できる。</li> </ol> <p><b>【緩和ケアと長期療養】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 癌性疼痛に対して使用される薬物を列挙し、使用上の注意について説明できる。</li> <li>2. 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について説明できる。</li> </ol>			
<b>受講心得・準備学習等</b>	各疾患に関わる機能形態学および治療に用いられる薬物の薬理作用を十分学習しておくこと。各回の内容について、講義前に1時間/回程度の予習をしておくことが望ましい。			
<b>事後学習・復習等</b>	各疾患の病態生理、適切な治療薬およびその使用上の注意について説明できるようにする。各回の内容について、講義前に1時間/回程度の復習をしておくことが望ましい。			
<b>オフィスアワー</b>	講義日の11時45分から12時45分とする。また、これ以外の時間帯でも在室中、いつでも、質問を受け付ける。（亀井） 講義日の11時45分から12時45分とする。（鈴木）			

### 授業の形式と各回の内容

<b>授業の形式</b>		講義形式で行なう。	
回	項目	内容	担当者
1	精神疾患	統合失調症の病態生理	亀井
2	精神疾患	統合失調症の治療薬と使用上の注意	亀井
3	精神疾患	うつ病、躁うつ病の病態生理	亀井
4	精神疾患	うつ病、躁うつ病の治療薬と使用上の注意	亀井
5	精神疾患	神経症、心身症の病態生理と治療薬及びその使用上の注意	亀井
6	精神疾患	薬物依存、アルコール依存の病態生理と治療薬及びその使用上の注意	鈴木
7	耳鼻咽喉の疾患	めまい、メニエール病の病態生理と治療薬及びその使用上の注意	亀井
8	耳鼻咽喉の疾患	アレルギー性鼻炎、花粉症、副鼻腔炎、中耳炎について	亀井
9	皮膚疾患	アトピー性皮膚炎、皮膚真菌症の病態生理と治療薬及びその使用上の注意	亀井
10	皮膚疾患	蕁麻疹、薬疹、水泡症、乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症	亀井
11	眼疾患	緑内障の病態生理と治療薬およびその使用上の注意	亀井
12	眼疾患	白内障の病態生理と治療薬及びその使用上の注意、結膜炎、網膜炎について	亀井
13	移植医療、緩和ケアと長期療養	移植に関連した病態生理、長期療養に付随する合併症、これらの治療薬とその使用上の注意	鈴木
<b>成績評価の方法</b>	定期試験結果を最重要視するが、質問等を通じた講義への積極的な参加など受講態度などを加味する。		
<b>成績評価の基準</b>	定期試験の得点が60パーセント以上を合格とする。受講態度によって10パーセント以内の範囲で得点を付加することがある。		
<b>教科書</b>	亀井淳三・齋藤英胤編「Pharmacotherapy」（ネオメディカル） 浦部晶夫・島田和幸・川合真一編「今日の治療薬 2017」（南江堂）		
<b>参考書など</b>			